

「不審者だ！」 防犯教室

5月27日に防犯教室を行いました。

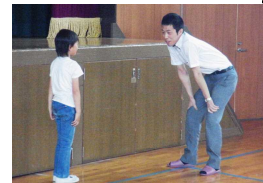


警察官の方が不審者に扮し、各教室の前をうろついてもらいました。教室に入ろうとするところを担任が入り口で阻止し、その間に子どもたちはベランダに逃げる準備をしました。5年の教室前で黒岩先生と天野先生がさすまたで不審者を確保している間にベランダ伝いに1年の教室へ移動し、そこから東階段を使って避難しました。1階におりたら、不審者と鉢合わせにならないように校舎の南側を通過して体育館に移動し、訓練を終了しました。



続いて体育館で警察の方から訓練についての話を聞きました。

「1年から3年は真剣に取り組めていたが、4年から6年がふざけていたのが残念だ」という指摘を受けました。訓練は何でも、いざというときに備えて真剣に取り組むことの重要性を改めて確認できたものと思います。次に、2年と3年の代表の児童に不審者に声をかけられたときの対応を実演してもらいました。2人とも「お菓子をあげるからおいで」などと声をかけられてもきっぱり断ることができました。そして、追いかかれそうになると大声を出して全力で逃げることができたので、警察の方にほめていただきました。最後に、連れて行かれそうになったときの大声の出し方を教えてもらいました。「ワー」とか「キャー」では、周りの人が遊んでいると勘違いするので、「たすけてー」と叫ぶようにとということでした。そして、低学年、中学年、高学年の順に大声を出す練習をしました。



先日、AKB48のメンバーが突然襲われたように、いつ事件が起こるかわからない時代です。いざというときに冷静に対応できるように、今回の訓練を生かしていきたいと思います。

田植え体験（5年生）

5年生は、総合的な学習の時間の取り組みの一つとして、毎年お米作りを行っています。そのスタートとして、田植えを体験させてもらいました。



最初にJAの方から「ひもの赤い印の所に苗を4本ぐらいまどめて植えること」「苗の1/3ぐらい埋まるようにしっかりさすこと」などの注意点を説明してもらいました。

田植えの仕方がわかったところで、目印に張ってあるひもの前に1列に並んで準備をしました。田んぼに入り始めると、「ぬるぬるして気持ち悪い」「足がはまって歩けない」など、悲鳴が聞こえてきます。しかし、しばらくすると「なんだか足の感触がおもしろい」と、なれて楽しくなってきたようです。教えてもらったようにひもの赤い印の所に苗を植え始めましたが、気がつくとも1本ずつになっているところもあります。JAの方に教えてもらい、本数を増やして植え直している場所もありました。植え終わると後ろに下がるのですが、足がはまってしまいしりもちをつく子もありました。田植機だとあっという間に終わってしまう広さでしたが、1時間以上かかり、米作りの大変さの一端を知ることができたようです。



秋には、稲刈り、脱穀の体験もさせてもらい、稲作りの学習を進めていきます。